



平成 23 年 11 月 25 日

各 位

会 社 名 プレシジョン・システム・サイエンス株式会社
代表者名 代表取締役社長 田島 秀二
(コード番号：7707 JASDAQ)
問合せ先 常務取締役 業務本部長 秋本 淳
(TEL 047-303-4800 <http://www.pss.co.jp/>)

PSS、多項目一括測定法に関する特許が米国で成立

プレシジョン・システム・サイエンス株式会社(以下 PSS)は、米国特許庁 (USPTO) より、「生体物質固定領域封入チップ、生体物質固定領域処理装置およびその処理方法」(US Application No.11/792,783) の登録査定を受けました。これにより、PSSが出願していた多項目同時測定技術に関する特許が、バイオテクノロジーの先進市場である米国で成立したことになります。

本特許技術は、PSS の基本技術である、特殊な形態をした分注 Tip (サンプル・試薬を定量的に制御する反応容器)を利用して、生体物質を測定する装置に関するものであり、多項目同時測定を高精度・小型・安価に行うことを可能にするものです。

PSS では、この多項目同時測定技術をコア技術とし、PSS が長年取り組んできた、サンプル・プレパレーション(測定のための検体前処理)技術と組み合わせることにより、独自の全自動測定システムを開発中です。本特許技術は、幅広い応用性を備えている技術であることから、以下の各分野等での早期の上市、実用化が期待されています。

- 遺伝子検査(DNA 変異、SNP、ウイルス等)
- 免疫反応検査(がんマーカー、ホルモン、感染症等)
- 食品安全性検査(食品中アレルゲン、細菌毒素等)

PSS は多項目一括測定法と全自動化は今後の診断市場やユーザー・ニーズの趨勢になると認識しており、本特許査定は PSS の方針を強化することに大いに役立つものと考えています。

以 上